



第41回公立小中学校栄養教諭・学校栄養職員研究大会報告



令和3年10月28日(木)、第41回公立小中学校栄養教諭・学校栄養職員研究大会が、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、ウェブ会議システムによりオンラインで開催された。大会主題「深めよう 心と体を育む食教育」のもと、講演、実践発表、指導講話により研修を深めた。



1 講演 演題「ジュニアアスリートを対象とした栄養教育」



講師 京都産業大学現代社会学部健康スポーツ社会学科
教授 吉岡 美子先生

栄養アセスメントの目的や目標の設定方法、栄養教育の実践内容について教えていただいた。ジュニアアスリートに対する栄養教育では食事内容を記録し食事を選択する能力を育成したり、保護者に対する調理実習等を通してスポーツ栄養に対する理解を深めたりしていることを学ぶことができた。



2 実践発表

「自分の体に興味・関心をもち、健やかでたくましい心と体づくりを目指す児童の育成」

発表者 新居浜市立神郷小学校
栄養教諭 高橋正子先生

児童の生活習慣チェックの分析、養護教諭・栄養教諭による指導、学校給食を生かした指導、教職員の研修、児童委員会活動についての発表があった。栄養教諭によるTT授業、感染症対策に配慮した給食指導や地場産物活用の取り組みなど、子どもと大人が共に学び、自己調整力の向上を目指した健康教育の実践を知ることができた。



3 指導講話 「給食に関する最新情報」

講師 愛媛県教育委員会保健体育課 指導主事 山市知代先生

第4次食育推進基本計画における食育推進の目標、学校給食実施基準の一部改正、災害時における学校給食実施体制の構築について御指導いただいた。管理栄養士・栄養士の資質・能力を高めることで、栄養教諭・学校栄養職員としての資質・能力が向上できるよう努めていきたい。

参加者の感想

- ・個別指導の体制づくりや指導を充実できるよう取り組みたいと思う。
- ・講演会も実践発表も資質向上や課題の改善につながる内容だった。
- ・Zoomでの研修は初めてだったが、参加しやすくてよかったと思う。

